

# 理数科通信

岩手県立水沢高等学校  
第1号 令和5年4月10日 発行

## 福島第一原子力発電所 廃炉情報誌『はいろみち』

東京電力福島第一原子力発電所・廃炉情報誌『はいろみち』第36号の編集後記に水沢高校が取り上げられました。昨年11月に東京電力福島復興本社から講師を招いて講演会を実施したこと、また、今年1月に福島第一原子力発電所を視察したことが記載されています。廃炉情報誌を読みたい方は『はいろみち』で検索してください。今年度も11月13日に講演会、12月24日・25日に1泊2日で視察を予定しています。1日目は、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問して、伝承館の見学、浪江町をバスで巡るフィールドワーク、語り部講話を実施します。その後、東京電力廃炉資料館を見学します。2日目は、福島第一原子力発電所構内をバスで巡り、事故を起こした1号機～4号機、処理水の貯蔵タンクなどを見学します。

### 編集後記

今年1月、岩手県立水沢高等学校の皆さんに福島第一原子力発電所をご視察いただきました。水沢高校では、東日本大震災からの復興状況や福島第一原子力発電所の現状と課題を理解する目的の一環として、2020年からご視察を続けていただいています。

一昨年に廃炉の現場をご視察いただいた際、「発電所で働く若手職員のお話を生徒に聞かせていただきたい」とのご要望を受け、ご視察前の昨年11月、福島高専で化学を学び現在は水処理設備の運用管理に従事している檜葉町出身で入社4年目の渡邊さんと、広報担当として私が水沢高校を訪問し意見交換をさせていただきました。

廃炉事業の概要や廃炉に携わる想いをわかりやすくお話しさせていただくことの難しさを実感しましたが、皆さんに廃炉事業を理解していただき、学んだ知識を活かせる可能性があると感じていただければ嬉しく思います。

今回特集させていただいた「ALPS処理水とトリチウム」については、読んでいただいた皆さんにご理解いただけるよう、科学的な根拠等も交えながらご説明させていただきました。

今後も様々な機会を活用させていただきながら、「はいろみち」の中でもわかりやすいご説明を心がけてまいります。



(サキ)

